

平成 20 年 12 月

介護支援専門員の皆様へ

「堺市における医療と介護の連携をすすめる関係者会議」
(いいともネットさかい)
座長 岡原 和弘

主治医と介護支援専門員との連絡シートの活用について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

皆様方におかれましては、平素より地域の高齢者支援のためご奮闘の事、心より敬意を表します。

さて、私たちの地域での医療と介護の連携を強めるため「堺市における医療と介護の連携をすすめる関係者会議」(愛称 いいともネットさかい)が今年 11 月に発足したところですが、ケアマネジャーから要望が多かった、主治医と連絡を取る際の共通様式を別紙のとおり、堺市医師会で作成いたしました。

1号様式「医師と介護支援専門員との連絡票」について
介護支援専門員から主治医に連絡を取る際に使用。
診療情報提供書とはちがいますので、費用はかかりません。

2号様式「介護支援専門員用診療情報提供書」及び「診療情報提供書における介護支援専門員からの回答(返信)」について

「介護支援専門員用診療情報提供書」は、主治医から介護支援専門員に患者の診療に関する情報を提供する場合に使用。

診療報酬の発生を伴いますので、自己負担に対する利用者の了解があらかじめ必要となります。(診療情報提供料は 250 点ですので、1割負担の方の場合は 250 円・3割負担の方の場合は 750 円の自己負担となります。)

「診療情報提供書における介護支援専門員からの回答(返信)」は、主治医から 2号様式を使用して介護支援専門員に連絡があった際、返信するときに使用する様式です。

堺市医師会では、12月20日頃に会員の先生方に共通様式の使用についてお知らせを发出する予定ですので、それ以降の主治医との連絡に際して活用していただけるのではないかと思います。

「堺市における医療と介護の連携をすすめる関係者会議」について

(目的)

高齢者が住みなれた地域で暮らし続けるためには、主治医と介護支援専門員との連携、在宅と施設の連携など、利用者一人ひとりについて主治医や介護支援専門員などの様々な職種が連携し、個々の高齢者の状況やその変化に応じて継続的にフォローアップしていく「包括的・継続的ケアマネジメント」の確立が早急に求められているところです。

その中でも、とくに医療と介護との緊密な連携が、高齢者の在宅生活を支えていく上で非常に重要ですが、現在のところ十分とはいえません。

この会議では、医療と介護にかかわる関係者が一同に集まり、意見交換や情報交換を通じて、堺市における医療と介護の連携についての現状や課題を把握し、その中で問題の解決に向けて、共通かつ全市的に取り組むべき課題を検討すると共に、医療と介護に従事する関係者に対する研修会の実施や情報提供などもおこなっていくことを目的に開催する。

(構成メンバー)

- ・堺市医師会
- ・大阪介護支援専門員協会 堺ブロック
- ・介護支援ネットワーク協議会・さかい
- ・地域包括支援センター
- ・堺市 (介護保険課・高齢福祉課・監査指導課)

(主導)

堺市医師会

(事務局)

堺市福祉サービス公社 統括地域包括支援センター部門

(経過)

平成 20 年 9 月 10 日 準備会を開催

平成 20 年 11 月 12 日 第 1 回関係者会議開催

愛称を「いいともネットさかい」と決定

高齢者のいのちといきがいを支えるためにともに力になるう